

【樹木の部屋】

クロトン（トウダイグサ科クロトンノキ属 *Codiaeum variegatum*）

和名：変葉木 **別名**：ヘンヨウボク、クロトンノキ **英名**：Croton

キントラノオ目 常緑低木・観葉植物 **原産地**：マレー半島、ジャワなど

花言葉：妖艶、嬌艶 **花の色**：白、黄



← 写真-1 クロトンの樹形

撮影日：2015年02月04日

撮影場所：奄美大島・大島紬村にて

撮影者：M さん

↓ 写真-2、3 クロトンの葉

撮影日：2015年02月04日

撮影場所：奄美大島・大島紬村にて

撮影者：M さん



奄美大島の、大島紬村を訪れた際、村内で見かけました。一見、モクレンの仲間が、枯れかかっている？と思い、近づいてみると、様子が違う。帰宅後、調べてみると、クロトン。

古くから観葉植物として親しまれ、熱帯地域では庭木としても利用されるそうです。雄花と雌花を咲かせますが、どちらも小さくあまり目立たないそうです。葉は黄色や赤、オレンジ色の様々な模様が入り、非常にカラフルで形も様々。そこがクロトンの特長で最大の魅力だそうです。

日本に入ってきたのは江戸中期、栽培されるようになったのが明治末とされています。葉の大きさや色、形に多くのバラエティーがあり、100 を超す園芸品種があるそうです。分類上これらの品種は、たった1つの変種 [var. pictum] から変異して生まれたとされ、クロトンはそれだけ変異しやすい植物だそうです。ヘンヨウボク(変葉木)の和名も・・・。

<ちょっと一言>

- * 園芸上は葉の形によって系統分けされ、その系統の下にそれぞれの品種が属します。系統には広葉系、長葉系、細葉系、ほこ葉系、有角系、飛葉系、らせん葉系などがあるそうです。